

様式第1号
受付印

土木建設課
課長主幹・補佐係長主査係
土木管理課
課長主幹・補佐係長主査係
協議書
公印
許可書
公印

記入例

道路占有許可申請協議書
減免申請

(宛先)道路管理者 旭川市長

申請者
〒000-0000
住所 旭川市〇条通〇丁目
氏名 上川 一朗
(担当者・TEL・E-mail 090-..... kamikawa@__.jp
〒000-0000
住所 旭川市〇条通〇丁目
工事業者
氏名 株式会社 旭川設備
代表取締役社長 旭川 太郎
(担当者・TEL・E-mail 旭川三郎 090-..... asahi@__.jp

次のとおり申請・協議します。
1 道路占有(許可申請・協議)

占用の目的

融雪機設置に伴う排水管理設のため

占用の場所
路線名(No.)
旭川市6条通11丁目
左・右 号 本・仲 通
場 所 旭川市 町 丁目 番 号 番地

占用物件
名称 規模 数量
融雪機排水 管 VUφ100×1.25m 1本

占用の期間
令和 年 月 許可日から 日間
令和 〇年 3月31日まで
占用物件の構造
道路使用許可申請書 添付図面のとおり

工事の期間
令和 年 月 許可日から 日間
令和 〇年 3月31日まで
工事実施の方法
道路法施行令第13条に基づき実施

道路の復旧方法
原形のとおり復旧する
添付書類
位置図 平面図 断面図 求積図
交通安全対策図 その他 確認通知書

許可年月日
令和 年 月 日
指令番号
旭土管指令第 号

調定番号
占用使用料
算出基礎
占用料
円

2 占用料減免申請
協議番号
理由 融雪機排水管設置のため
上記の理由により旭川市道路占用料条例第6条第 号を適用して(免除・減額)する。
減免金額 円 減免後の占用料 円
注) 内)にのみ記入してください。□欄はチェックしてください。
線内は記入しないでください。
占用台帳入力 確認者 入力者
令和3年4月1日 更新

※①
減免申請欄に○をつけてください。

※②
占用期間は5年先の年度末(3月31日)までです。なお、期間満了時に更新手続きがあります。

※③
添付図面は各3部ずつ提出してください。
・位置図
・現況写真
・平面図
・断面図
・確認通知書(※④)

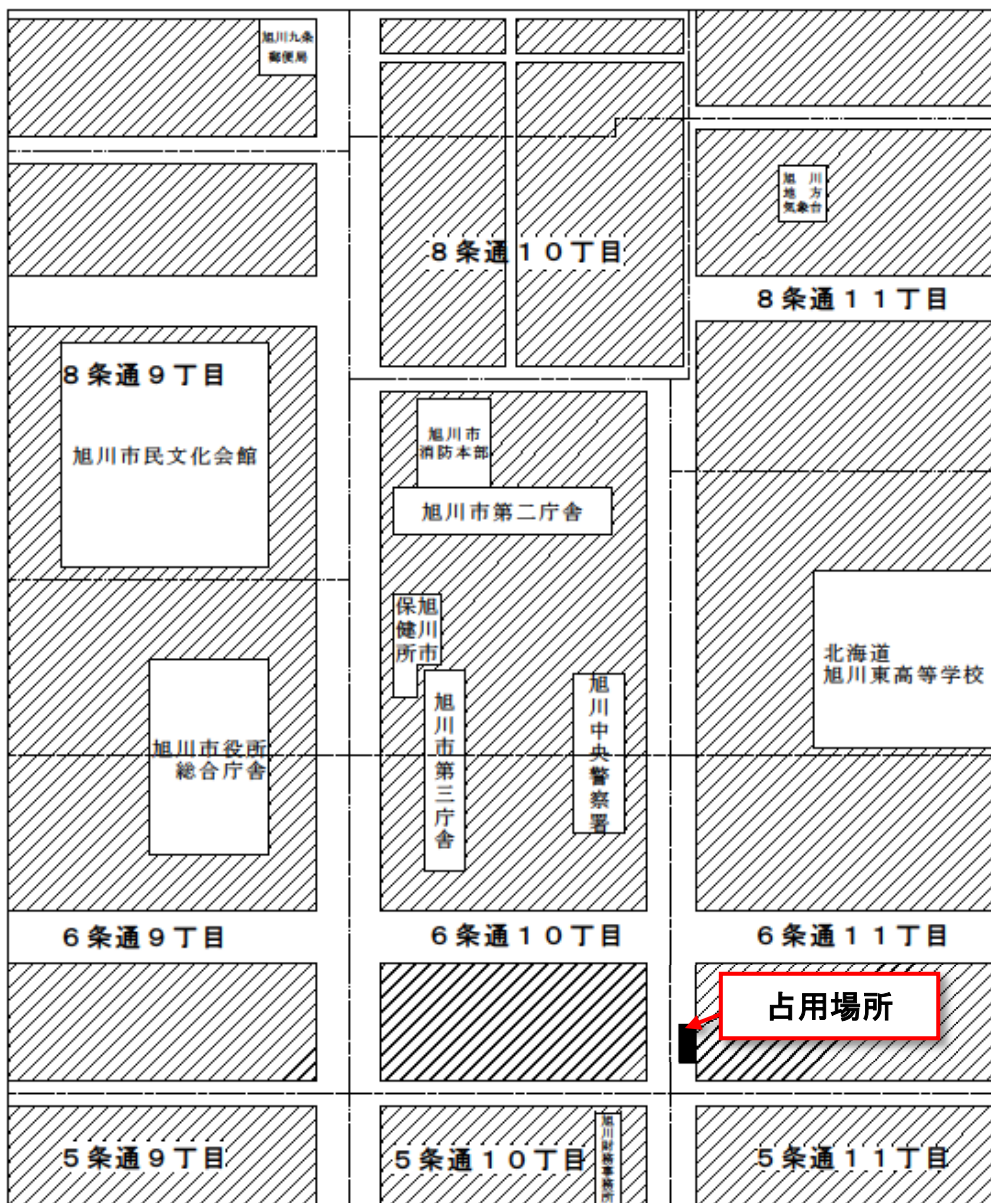
※④
水道局の雨水管、雨水樹等に接続する場合、水道局(サービス課)で交付される『排水設備工事確認通知書』のコピーを提出してください。

※⑤
占用料減免申請の理由を記入してください。

その他
お手持ちのパソコンにて作成する場合は、申請書のほか、協議書(警察用)、申請書(写)、許可書の4枚が印刷されますので、一式提出してください。

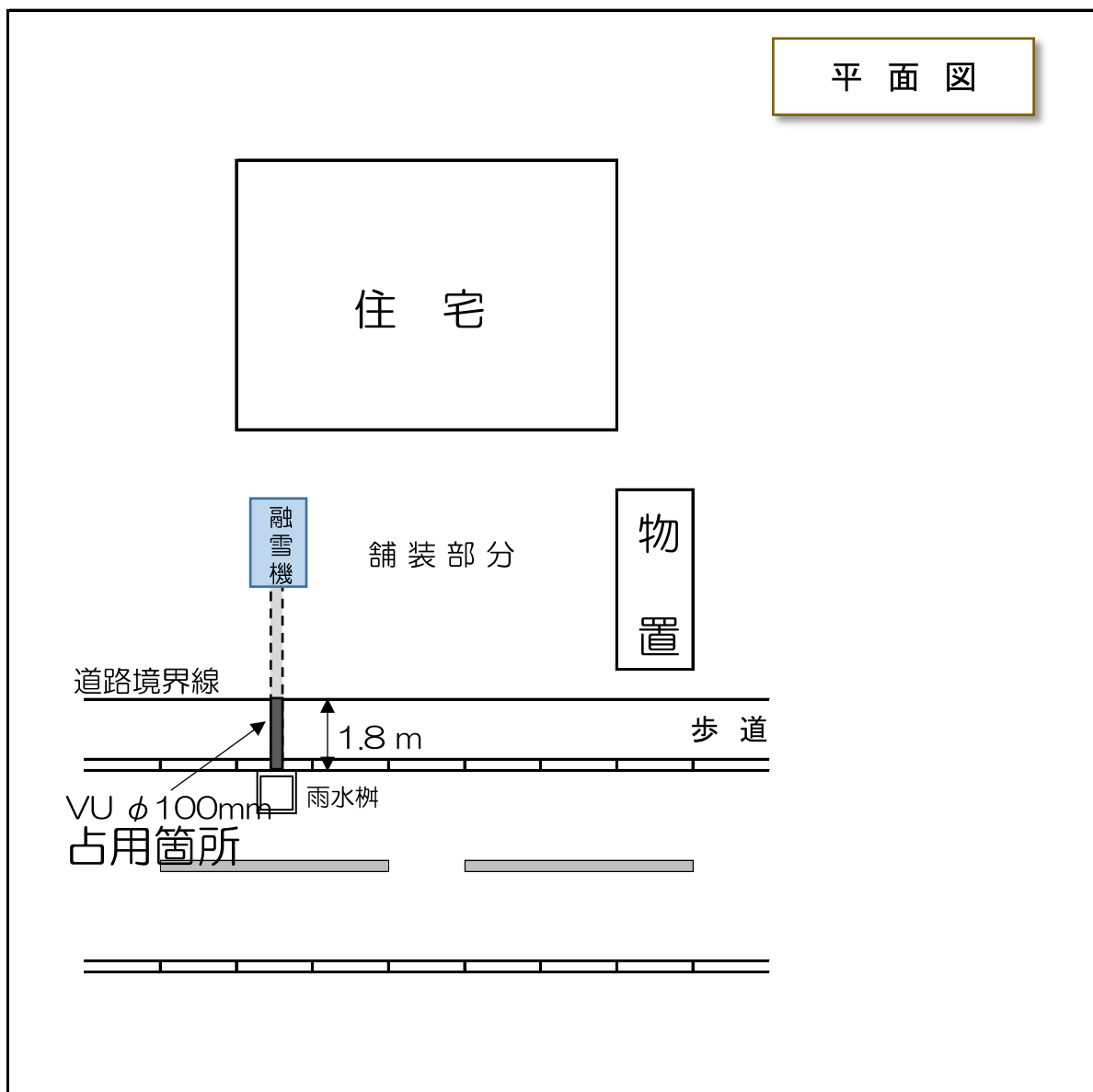
【位置図】

・ 占用箇所の住所、占用箇所の位置がわかるように作成してください



【パターン① 雨水桧に接続する場合】

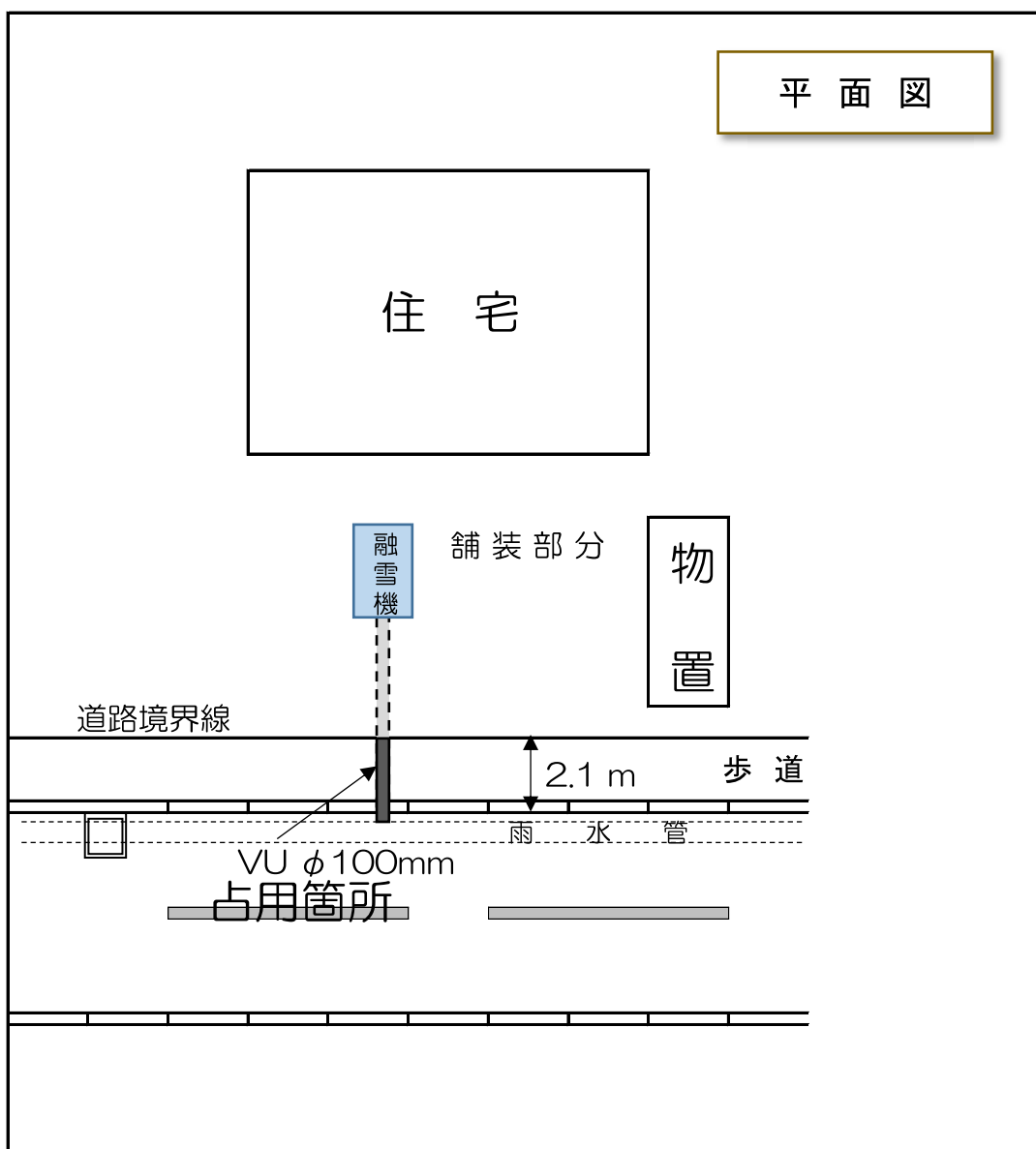
平面図



＜申請にあたっての留意点＞

- できるだけ市道内での接続距離及び路面の掘削面積が小さくなるような施工を心がけてください。
- 接続先や復旧路盤等について特殊な事情や問題のある場合は、事前に御相談ください。

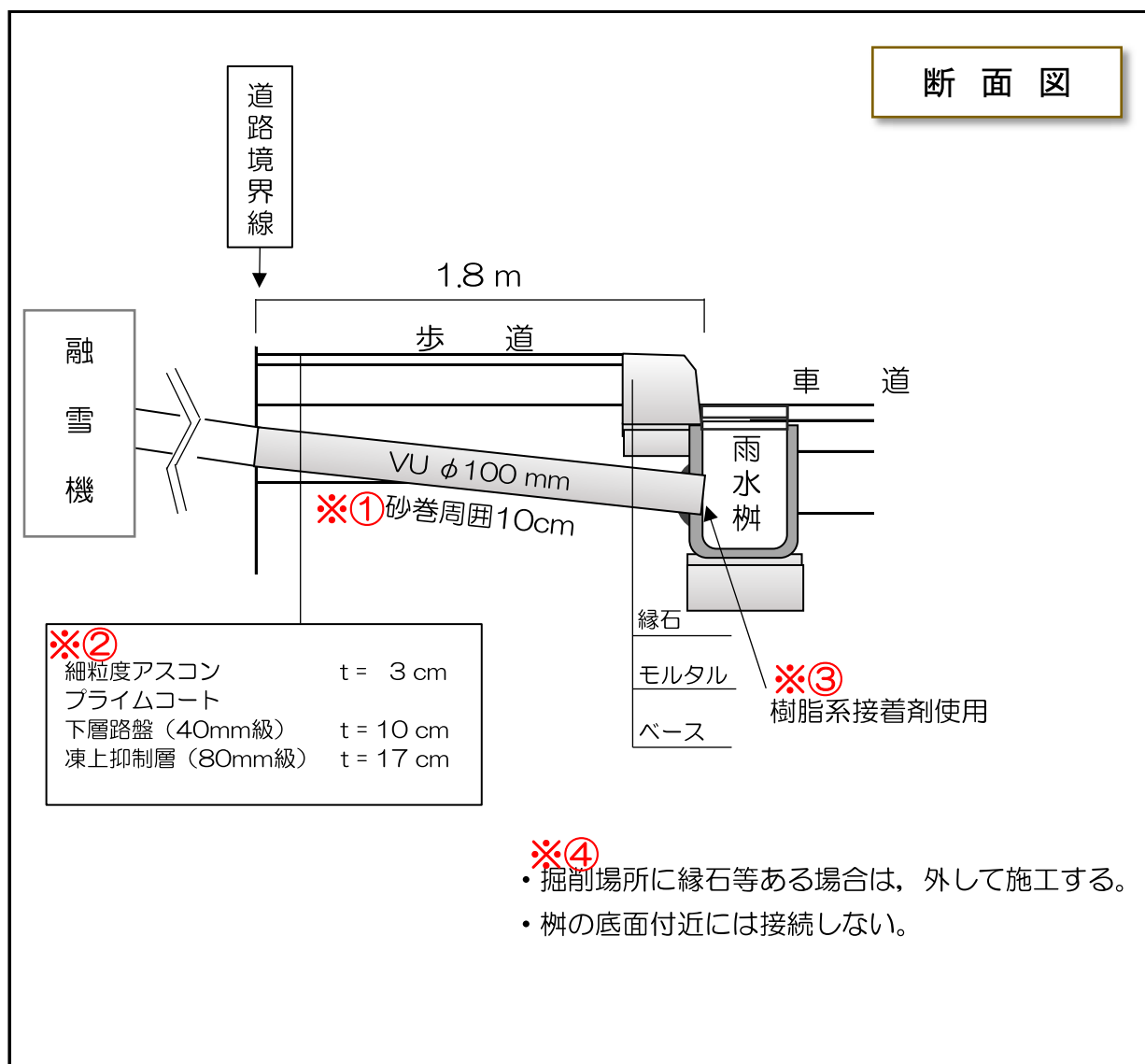
【パターン② 雨水管に接続する場合】



＜申請にあたっての留意点＞

- できるだけ市道内での接続距離及び路面の掘削面積が小さくなるような施工を心がけてください。
- 接続先や復旧路盤等について特殊な事情や問題のある場合は、事前に御相談ください。

【パターン① 雨水桧に接続する場合】



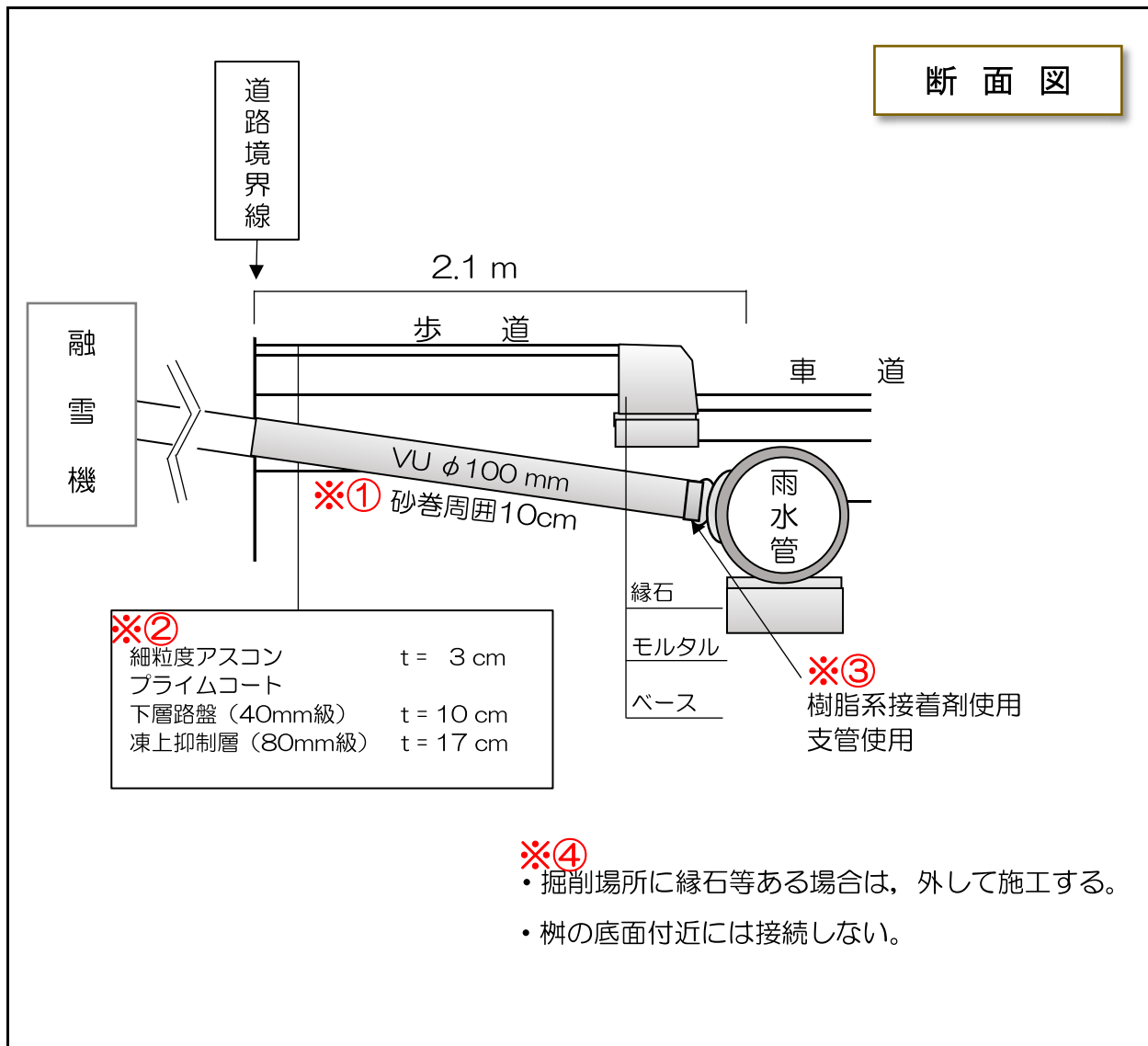
＜申請にあたっての留意点＞

- ※① 塩ビ管等を使用する際、管の破損を防ぐため、周囲10cm程度砂巻きをしてください。その旨図面内に記載してください。
- ※② 路面の復旧構造を記載してください。
原則、道路は現況に従って復旧してください。
路盤とアスファルト間には、全面プライムコートを散布してください。
- ※③ 樹脂系接着剤にて接続をしてください。
- ※④ 接続場所に縁石等ある場合は外して施工し、えぐり堀（たぬき堀）はしないでください。
縁石を復旧する際は、図面にも復旧構造（縁石、モルタル、ベース）の記載をしてください。
凍上の恐れ等あるため、桧の底面に管を接続しないでください。
上記事項について理解した旨、図面内に記入をお願いします。

その他 管径が150mm以上のものを桧等に接続する場合、排水施設への影響を確認するため、流量計算等資料の提出を求めることがあります。

特殊な事情や確認したいこと等ある場合は、事前に御相談ください。

【パターン② 雨水管に接続する場合】



＜申請にあたっての留意点＞

- ※① 塩ビ管等を使用する際、管の破損を防ぐため、周囲10cm程度砂巻きをしてください。
その旨図面内に記載してください。
- ※② 路面の復旧構造を記載してください。
原則、道路は現況に従って復旧してください。
路盤とアスファルト間には、全面プライムコートを散布してください。
- ※③ 樹脂系接着剤にて接続をしてください。
 $\phi 100$ 以上の管を接続する場合は、支管を使用してください。
- ※④ 接続場所に縁石等ある場合は外して施工し、えぐり堀（ためき堀）はしないでください。
縁石を復旧する際は、図面にも復旧構造（縁石、モルタル、ベース）の記載をしてください。
凍上の恐れ等あるため、雨水管の底面に管を接続しないでください。
上記事項について理解した旨、図面内に記入をお願いします。

その他 管径が150mm以上のものを柵等に接続する場合、排水施設への影響を確認するため、流量計算等資料の提出を求めることがあります。

特殊な事情や確認したいこと等ある場合は、事前に御相談ください。